

---

# 中国情報（WTO/FTA・貿易・安全・その他）

---

2009年1月23日号

◎2008年12月における中国のトウモロコシ市場観測情報

【中国農業部】

中国農業部は先ごろ、2008年12月におけるトウモロコシ市場の観測情報について発表した。その概要は以下のとおりである。

※ この記事は、中国農業部の了解を得て、独立行政法人農畜産業振興機構が翻訳提供しているものです。内容の一部または全部を転載等する場合は、資料元が当機構によるものである旨を必ず明らかにして下さい。

## 1 国内トウモロコシ価格は加速的に下落

2008年11月のトウモロコシ買付価格及び卸売市場価格は、最近2年間で初めて前年同月比で下落し、12月にはさらに下げ幅が大きくなった。12月の生産地における平均卸売価格は1トン当たり1,453円で、前月比5.4%安・前年同月比7.9%安となった。同じく消費地では同1,670円で、前月比6.2%安・前年同月比14.0%安となった。

## 2 国際市場価格は引き続き下落、輸入トウモロコシ通関渡し価格は2か月連続で東北のトウモロコシ国内港到着価格を下回る。

2008年12月の米国メキシコ湾における2号黄色トウモロコシの平均離岸価格（本船渡し価格＝FOB価格）は1トン当たり158ドルで、前月比4.8%安・前年同月比11.7%となり、史上最高となった6月に比べ44.9%安となった。先物価格は同136ドルで、前月比10.5%安・前年同月比18.6%となり、史上最高を記録した6月に比べ50.4%安となった。しかし、12月下旬に国際トウモロコシ価格が反発し、同月上旬に比べ20.4%高となった。

また、同月の米国におけるトウモロコシFOB価格を1トン当たり1,084円と換算すると、国内生産地の平均卸売価格に比べ同369円安かった。同時に、国際原油価格の下落により輸入トウモロコシの海上輸送費が5年前の水準まで下がり、12月の広州黄埔港におけ

る輸入トウモロコシの通関渡し価格（Duty Paid：C I F＋関税等）は同1,522円で、同時期の東北のトウモロコシの国内港到着価格を同41元下回った。2か月連続で東北のトウモロコシ国内港到着価格を下回るのは、最近5年間では初めてのことである。

- 3 トウモロコシ輸出は引き続き大幅に下落、輸入総量は少なかったが増加速度は大  
2008年11月の中国のトウモロコシ輸出量は2.3万トンで、前月比6%減・前年同月比81.3%となった。輸入量は1.9万トンで、前月比3.3倍増・前年同月比84.4%増となった。1～11月の累計輸出量は前年同期比95.6%減の21.4万トンで、1996年以来最低を更新した。累計輸入量は同74.6%増の4万トンとなった。

- 4 世界のトウモロコシ生産量は減少、供給は依然として逼迫

国際穀物理事会（I G C）の2008年11月の予測によると、2008/09年度の世界のトウモロコシ生産量は、前年度比1.5%減の7.75億トンと見込まれている。消費量は同2.2%増の7.90億トンと予測され、生産量が需要量を満たさず、世界のトウモロコシ在庫量は同12.3%減の1.14億トンと、この5年間で最低水準になるものとみられている。在庫消費率は14.1%と予測され、国連食糧農業機関（F A O）が安全水準としている17%を下回るものとみられている。